

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【公開番号】特開2006-293344(P2006-293344A)

【公開日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【年通号数】公開・登録公報2006-042

【出願番号】特願2006-75139(P2006-75139)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/30 J

G 0 9 G 3/20 6 2 4 B

G 0 9 G 3/20 6 4 1 A

G 0 9 G 3/30 K

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月18日(2009.2.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】半導体装置、表示装置および電子機器

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電極と、

ゲート、第 1 端子及び第 2 端子を備える第 1 のトランジスタと、

第 1 の配線と、

第 2 の配線と、

前記第 1 のトランジスタのゲートと前記第 1 の配線との電位差を保持する容量素子と、

前記第 1 のトランジスタのゲートと前記第 1 のトランジスタの第 2 端子を導通又は非導通にする第 2 のトランジスタと、を有し、

前記第 1 のトランジスタの第 1 端子は前記第 2 の配線に電氣的に接続され、

前記第 1 のトランジスタの第 2 端子は前記電極と電氣的に接続されていることを特徴とする半導体装置。

【請求項 2】

電極と、

ゲート、第 1 端子及び第 2 端子を備える第 1 のトランジスタと、

第 1 の配線と、

第 2 の配線と、

容量素子と、

第 2 のトランジスタと、を有し、
前記第 1 のトランジスタの第 1 端子が前記第 2 の配線に電氣的に接続され、
前記第 1 のトランジスタの第 2 端子が前記電極と電氣的に接続され、
前記第 1 のトランジスタのゲートと前記第 1 のトランジスタの第 2 端子は前記第 2 のトランジスタを介して電氣的に接続され、

前記第 1 のトランジスタのゲートは前記容量素子を介して前記第 1 の配線と電氣的に接続されていることを特徴とする半導体装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 において、前記第 1 のトランジスタの W / L 比は前記第 2 のトランジスタの W / L 比に比べて大きいことを特徴とする半導体装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか一項において、
前記第 1 のトランジスタ及び前記第 2 のトランジスタは、酸化物半導体を有していることを特徴とする半導体装置。

【請求項 5】

請求項 4 において、前記酸化物半導体は a - I n G a Z n O を有していることを特徴とする半導体装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 3 のいずれか一項において、
前記第 1 のトランジスタ及び前記第 2 のトランジスタは、アモルファスシリコンを有していることを特徴とする半導体装置。

【請求項 7】

発光素子と、
ゲート、第 1 端子及び第 2 端子を備える第 1 のトランジスタと、
第 1 の配線と、
第 2 の配線と、
前記第 1 のトランジスタのゲートと前記第 1 の配線との電位差を保持する容量素子と、
前記第 1 のトランジスタのゲートと第 2 端子を導通又は非導通にする第 2 のトランジスタと、を有し、
前記第 1 のトランジスタの第 1 端子は前記第 2 の配線に電氣的に接続され、
前記第 1 のトランジスタの第 2 端子は前記発光素子の電極と電氣的に接続されていることを特徴とする表示装置。

【請求項 8】

発光素子と、
ゲート、第 1 端子及び第 2 端子を備える第 1 のトランジスタと、
第 1 の配線と、
第 2 の配線と、
容量素子と、
第 2 のトランジスタと、を有し、
前記第 1 のトランジスタの第 1 端子は前記第 2 の配線に電氣的に接続され、
前記第 1 のトランジスタの第 2 端子は前記発光素子の電極と電氣的に接続され、
前記第 1 のトランジスタのゲートと前記第 1 のトランジスタの第 2 端子は前記第 2 のトランジスタを介して電氣的に接続され、
前記第 1 のトランジスタのゲートは前記容量素子を介して前記第 1 の配線と電氣的に接続されていることを特徴とする表示装置。

【請求項 9】

請求項 7 または 8 において、前記発光素子は、三重項材料を有することを特徴とする表示装置。

【請求項 10】

請求項 7 乃至 9 のいずれか一項において、前記第 1 のトランジスタの W / L 比は前記第

2 のトランジスタの W / L 比に比べて大きいことを特徴とする表示装置。

【請求項 1 1】

請求項 7 乃至 1 0 のいずれか一項に記載の表示装置を有することを特徴とする電子機器。

【請求項 1 2】

請求項 7 乃至 1 0 のいずれか一項に記載の表示装置と操作キーを有することを特徴とする電子機器。